

定例会の概要

令和2年度一般会計・各特別会計予算など

議案30件を「可決」

令和2年第1回定例会を2月28日(金)から3月18日(水)までの20日間の日程で行い、市長より諮問1件、議案30件が上程され、いずれも原案のとおり適任・可決とされ、議員提出議案1件についても、原案のとおり可決しました。

また、本定例会に提案された議案等の審議結果は、次ページに一覧を掲載しました。

なお、本定例会において、適任とされた人事案件は、次のとおりです。

○人権擁護委員

佐々木 忠臣 氏(再)

主な議案の審議内容

令和2年度鹿角市一般会計予算

質問

人口減少などに伴い財政規模の縮小

が今後見込まれると考えるが、予期しない震災などに備え、財政調整基金を計画的かつ早急に積み上げていく必要があるのではないか。

答弁

市では、災害等への積み立てを行っているという部分もあるが、積極的にまちづくり基金や企業立地促進基金の積み増しを行い、まちづくりを促進していくという姿勢もとっている。現在、市は実質公債費比率などの健全化判断比率から判断し健全段階にはあるが、財政の健全化には十分に配慮しながら今後の財政運営に努めていく。

質問

新年度の歳入全般について、市税以外の財源は例年どおりの収入を見込んでいるか。

答弁

新年度における歳入はおおむね予定どおりの収入となるものと見込んでいる。

なお、新年度の変更点としては、幼保無償化に伴い保護者からの負担金が減ったことにより、民生使用料が3000万円ほどの減収となるが、この減収分は国の交付金で措置される予定となつて

質問

移住コンシェルジュの確保については、全国的にさまざまな課題が出てきているが、来年度以降の本市移住コンシェルジュの募集の進め方について伺う。

答弁

国では全国8000人の地域おこし協力隊を活用することを

目指しているが、全国で採用が進む中、以前ほど容易に人材を確保できない現状にあると考えている。

本市では、新年度は移

住コンシェルジュ3名体制で移住サポートを行っていきたいと考えているが、コンシェルジュの不安を取り除くため、任期中から任期終了後の定住を見据えた活動を積極的に行っていたかとともに、市においても資格取得などの支援を行いながらコンシェルジュの確保に取り組んでいく。



北限の桃収穫体験
移住コンシェルジュが移住お試しツアーの案内を行っています

質問

各種検診推進事業について、新たに51歳から60歳の市民を対象に肺がん検診を無料とするとのことだが、無料とした背景を伺う。

答弁

現在、50代の胃がん、大腸がん検診

は無料で行っているが、肺がんは50代から罹患する方が増える傾向にあるため、肺がん検診も含めた総合的な受診率を上げていくことにより、受診の習慣化を意識付けたいという観点から、来年度において、肺がん検診を無料化するものである。

質問

今年度、尾去沢デイサービスセンターの機能が福祉プラザに移転したことに伴い、福祉プラザの利用者数が増えているが、来年度、さらに利用者数を増やせるような取り組みは考えているか。

答弁

尾去沢デイサービスセンターの機能移転に伴い、それまでの利用者を福祉プラザに送迎するための取り組みを開始したが、今年度の実施状況から見ると昨年度まで定期的に尾去沢デイサービスセンターを利用していた人数以上のタク